

合併10周年記念式典・姉妹都市サミット

7月25日

7月25日(土)、旧宇和島市、旧吉田町、旧三間町、旧津島町の合併により、新宇和島市が誕生して10周年を祝う記念式典が南予文化会館で行われ、500人を超える市民・関係者が出席しました。

式典の中で石橋市長は、「合併から10年、財政状況の改善、有利な起債を活用した公共施設の整備など、最大限の努力は行えたと思う。本市が今後も南予の中心都市として発展していくために、これからの数年間は非常に重要な時期であり、地方創生の基本方針となる『宇和島市版総合戦略』の策定を行うなど、地域の活性化、



人口減少の歯止めとなる施策に取り組んでいく」と、式辞を述べました。

式典では、市政功労者表彰、合併10年を振り返るビデオ上映、合併の年に生ま

れた小学4年生児童4人によるふるさと宇和島への思いを綴った作文の発表が行われました。

式典の最後には、市民の皆さんから公募した写真により製作したフォトモザイクパネルが公開され、石橋市長と兵頭 司博 市議会議長がフォトモザイクパネルの最後のピースを貼り付けて完成させました。



また、式典後には市と姉妹都市関係にある4市町の首長が集まり、「姉妹都市サミット」が天赦園で行われました。宮城県仙台市・大崎市、長野県千曲市、北海道当別町、そして本市も含めた5市町は伊達家との縁が深く、各市町の歴史と伊達家との関わり、今後の交流のあり方などについて意見を交換し、姉妹都市の絆を深めました。

バスガイドおもてなしトーク in 宇和島

7月19日

宇和島市出身で別府観光開発に尽力し、日本で初めて女性バスガイドによる定期観光バスを運行した油屋 熊八 さんにちなみ、バスガイドによるトークショーやレトロバスの展示・運行などを行うイベント、「バスガイドおもてなしトーク in 宇和島」が、きさいや広場で行われました。

「亀の井バス」(別府市)や「宇和島自動車」など4社のバスガイドが、仕事でのエピソードを語るトークショーでは、バスガイド歴50年以上で今も現役で働いている室屋 慧子 さんも参加をして、自身の体験を語っていました。中でも、バスガイドが始まった当時の七五調での観光案内を披露すると、歌うような美しい響きに会場からは大きな拍手が起こりました。



災害発生時における市と市内郵便局の協力に関する協定

7月3日

市は市内郵便局と災害発生時における協力に関する協定を結び、市役所にて調印式を行いました。

協定は、市内において災害が発生した際、避難所に避難している人に早期に郵便物などの配布を行うことや、避難所にポストを設置して避難所から郵便物を送付できるようにするなど、被災者の支援を行うものです。

また、郵便局の利用者が、日ごろから海拔表示を目にすることにより、避難時の参考となるよう、市内24箇所の郵便局に海拔表示板を設置します。

調印式で石橋市長は、「混乱時に必要となる、マンパワーの確保につながる協力をいただけることは大変ありがたいと、有意義な協定となることを期待します」と挨拶しました。

